

令和7年度第2回
モニターアンケート結果報告書

板橋区都市づくりビジョン
「都市づくりの取組」について

板橋区政策経営部広聴広報課

— 目 次 —

ページ

アンケート概要		1
基本情報		
問1	あなたの年齢は	2
問2	あなたの職業は	2
問3	あなたのお住いの地域は（町丁目名まで）	3
問4	あなたのお宅の構成は	3
問5	あなたの区内居住年数は	4
問6	あなたの普段お使いになる駅は（複数回答可）	4
現在の板橋区の都市づくりについて		
問7	普段お使いになる駅までの、バスや自転車の利用環境に満足していますか。	5
問8	普段お使いになる駅までの、歩道等の歩行環境に満足していますか。	5
問9	普段お使いになる駅周辺が、区の顔、地域の顔となる駅前だと感じていますか。	6
問10	あなたの身近な街並みの建物等が、周辺に調和していると感じていますか。	6
問11	あなたの身近な場所に、外出したくなるような歩いて楽しい場所がありますか。	7
問12	あなたの身近な場所に、自宅以外で居心地が良い場所がありますか。	7
問13	問12で「1 ある」「2 少しある」と回答された方にお伺いします。自宅以外で居心地が良い場所は具体的にどこですか。（3つまで選択可）	8
問14	あなたのお住まいの場所が、高齢になっても安心して住み続けられる場所だと感じていますか。	9
問15	板橋区の魅力を他の誰かにすすめたいですか。（1点から10点までの10段階で回答）	9
問16	板橋区をより良くするための活動に関わりたいですか。（1点から10点までの10段階で回答）	10
問17	板橋区をより良くするために活動している人に感謝（応援）したいですか。（1点から10点までの10段階で回答）	10
問18	その他、都市づくりに関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。	11～19

※ n（number of cases）は、その設問に対する回答者の総数を示しています。
 質問によっては複数の回答を得たものがあります。
 また、質問によっては、回答がなかった、もしくは、択一選択の質問に複数の回答があったため、総数について整合がとれていない部分があります。

1 アンケート概要

板橋区都市づくりビジョン「都市づくりの取組」について

2 調査目的

板橋区では、平成30年3月に都市計画に関する基本的な方針である「板橋区都市づくりビジョン」を策定し、都市づくりに取り組んでいます。

板橋区都市づくりビジョンでは、「東京で一番住みたくなるまち」として評価されるまちをめざして、都市生活の質を向上させるための6つの都市づくりのテーマに応じた、テーマ別の都市づくりに取り組んでいます。

今回の調査は、都市づくりの取組に係る生活のしやすさ等について、皆様のご意見をお聞きするものです。

3 調査対象

(1) いたばし・タウンモニター 54名

(2) いたばし・eモニター 197名

4 調査方法

(1) いたばし・タウンモニター 郵送またはインターネット回答

(2) いたばし・eモニター インターネット回答

5 調査期間

令和7年7月18日（金）から令和7年7月31日（木）まで

6 アンケート作成部署

都市計画課 都市計画係

7 回答結果（回答率）

	回答数	回答率
タウンモニター	41人	75.9%
eモニター	107人	54.3%
計	148人	59.0%

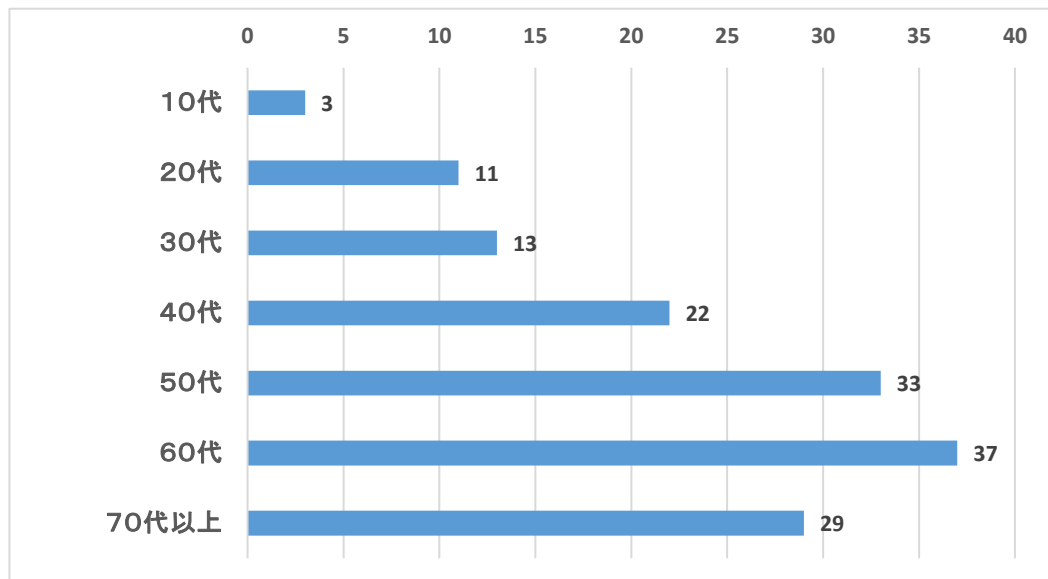
8 その他

紙面の関係上、同様の内容のものについては要約・省略をしているものがあります。また、ご意見・ご要望等で、アンケートに関連のない内容等については、割愛いたしました。

回答の比率（％）は、小数点第二位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100％にならない場合があります。

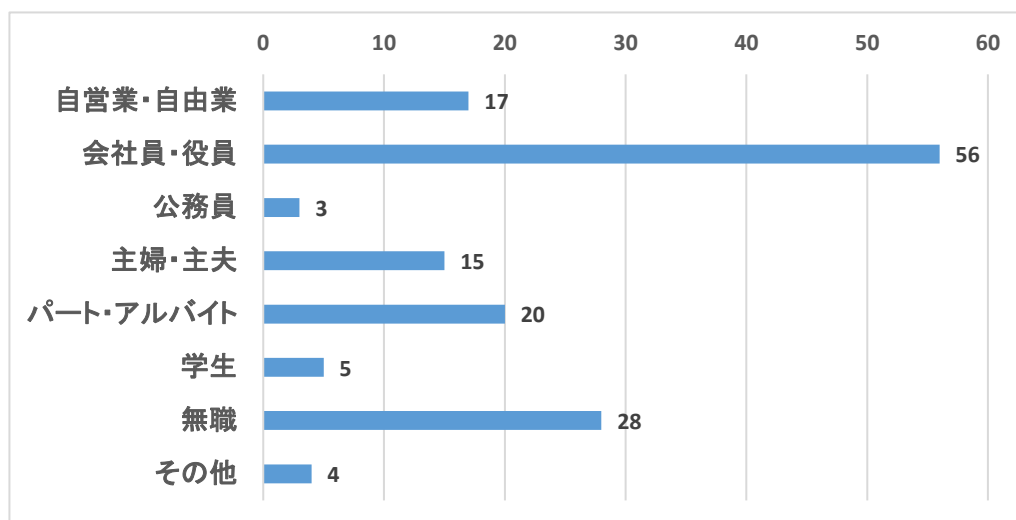
基本情報

問1 あなたの年齢は



n=148

問2 あなたの職業は



n=148

《その他の回答》

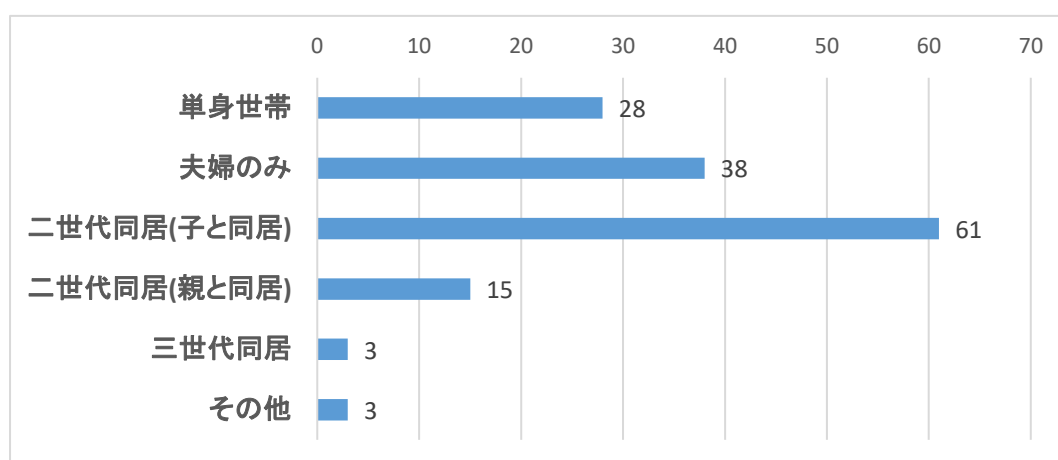
- ・私立高校教員
- ・手話通訳
- ・病院職員
- ・契約社員

問3 あなたのお住いの地域は

相生町	1	大山町	1	東新町	1	氷川町	1
赤塚	7	加賀	7	常盤台	5	東坂下	1
赤塚新町	4	上板橋	4	徳丸	5	東山町	1
小豆沢	4	小茂根	5	仲宿	2	富士見	2
泉町	1	幸町	2	中台	3	舟渡	3
板橋	7	栄町	1	仲町	2	本町	3
稲荷台	2	坂下	12	中丸町	1	前野町	7
大谷口	4	清水町	2	成増	10	三園	1
大谷口上町	1	志村	5	西台	1	南町	1
大谷口北町	4	新河岸	1	蓮沼町	2	大和町	1
大山金井町	1	高島平	10	蓮根	5	弥生町	1
						若木	3

n=148

問4 あなたのお宅の構成は

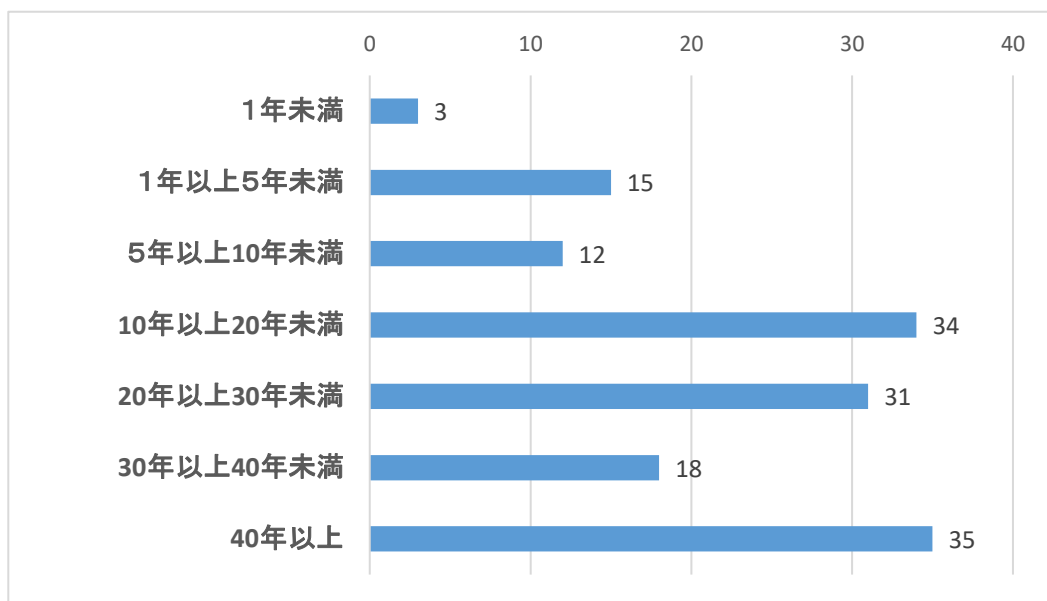


n=148

《その他の回答》

- ・二世帯同居(同性パートナー)
- ・一人親家庭
- ・妹と同居

問5 あなたの区内居住年数は



n=148

問6 あなたの普段お使いになる駅は（複数回答可）

板橋駅	16	本蓮沼駅	7	西高島平駅	5	下赤塚駅	7
十条駅	8	志村坂上駅	12	下板橋駅	11	成増駅	14
浮間舟渡駅	8	志村三丁目駅	15	大山駅	24	千川駅	8
赤羽駅	5	蓮根駅	14	中板橋駅	8	小竹向原駅	14
新板橋駅	13	西台駅	6	ときわ台駅	15	地下鉄赤塚駅	9
板橋区役所前駅	21	高島平駅	9	上板橋駅	15	地下鉄成増駅	14
板橋本町駅	16	新高島平駅	6	東武練馬駅	9	鉄道は利用しない	0
						その他	2

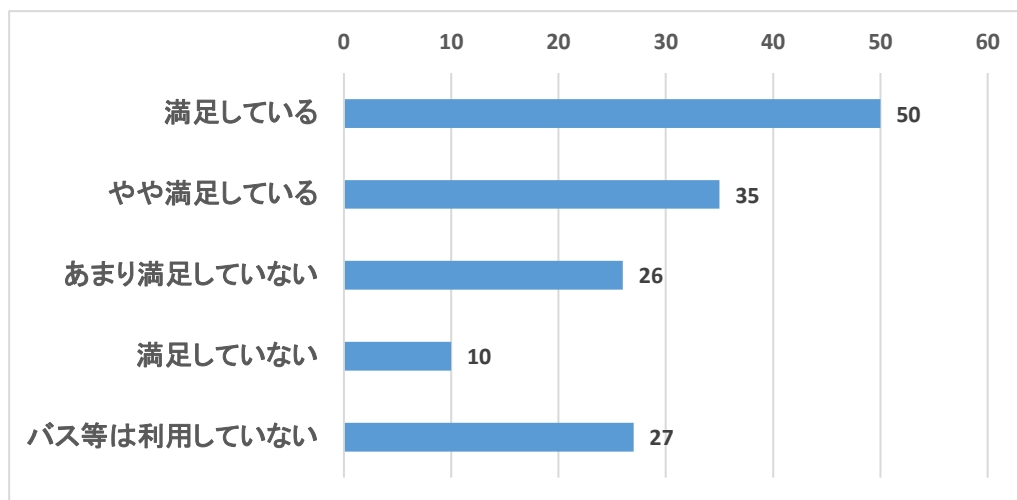
n=148

《その他の回答》

- ・要町駅
- ・バス

現在の板橋区の都市づくりについて

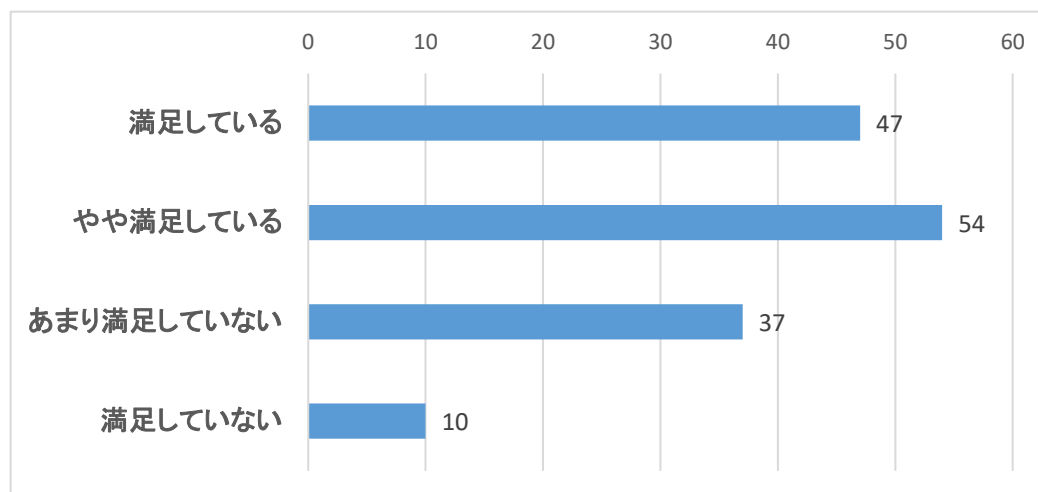
問7 普段お使いになる駅までの、バスや自転車の利用環境に満足していますか。



n=148

「満足している」と回答した人が50人（33.8%）で最も多かった。

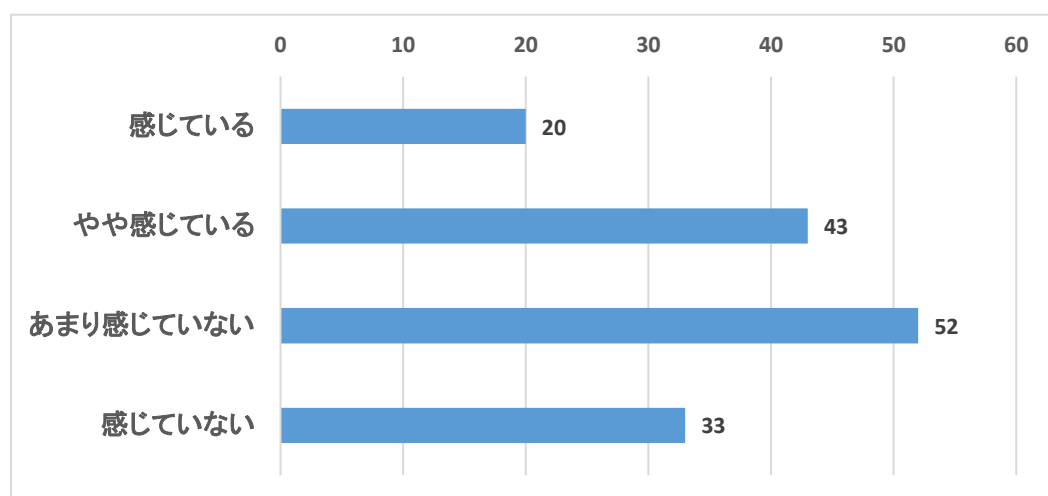
問8 普段お使いになる駅までの、歩道等の歩行環境に満足していますか。



n=148

「やや満足している」と回答した人が54人（36.5%）で最も多かった。

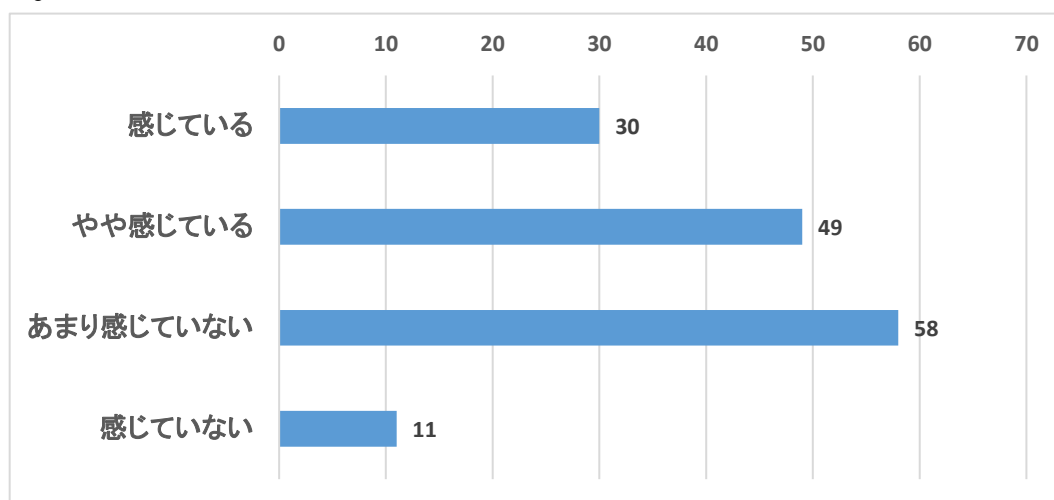
問9 普段お使いになる駅周辺が、区の顔、地域の顔となる駅前だと感じていますか。



n=148

「やや感じていない」と回答した人が52人（35.1%）で最も多かった。

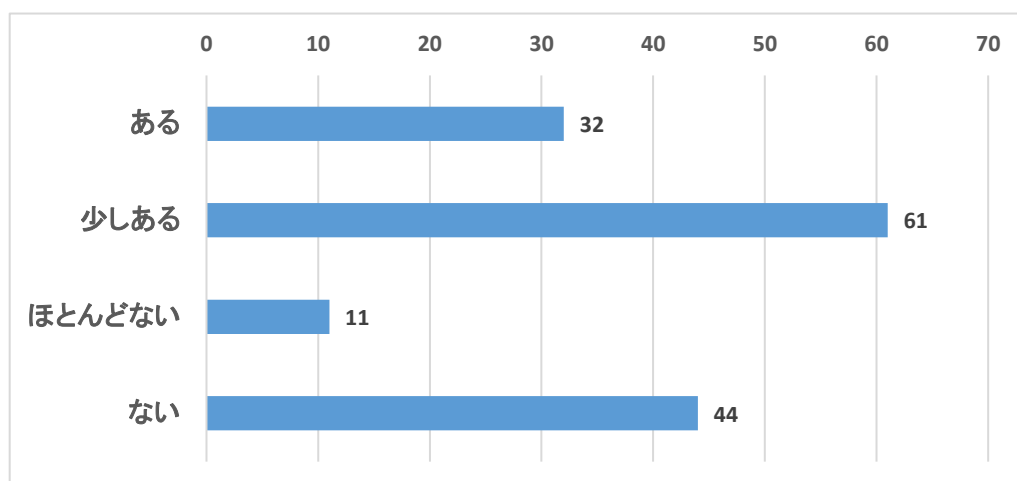
問10 あなたの身近な街並みの建物等が、周辺に調和していると感じていますか。



n=148

「やや感じていない」と回答した人が58人（39.2%）で最も多かった。

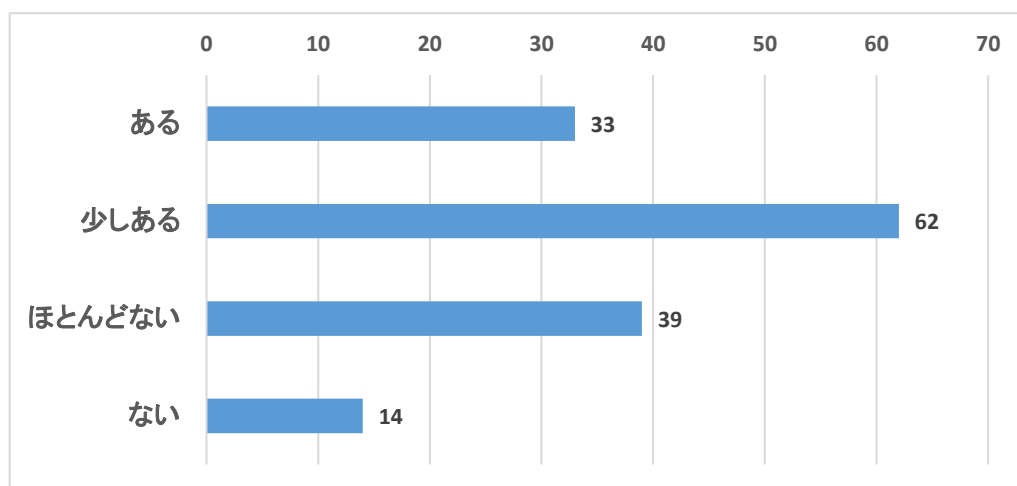
問11 あなたの身近な場所に、外出したくなるような歩いて楽しい場所がありますか。



n=148

「少しある」と回答した人が61人（41.2%）で最も多かった。

問12 あなたの身近な場所に、自宅以外で居心地が良い場所がありますか。

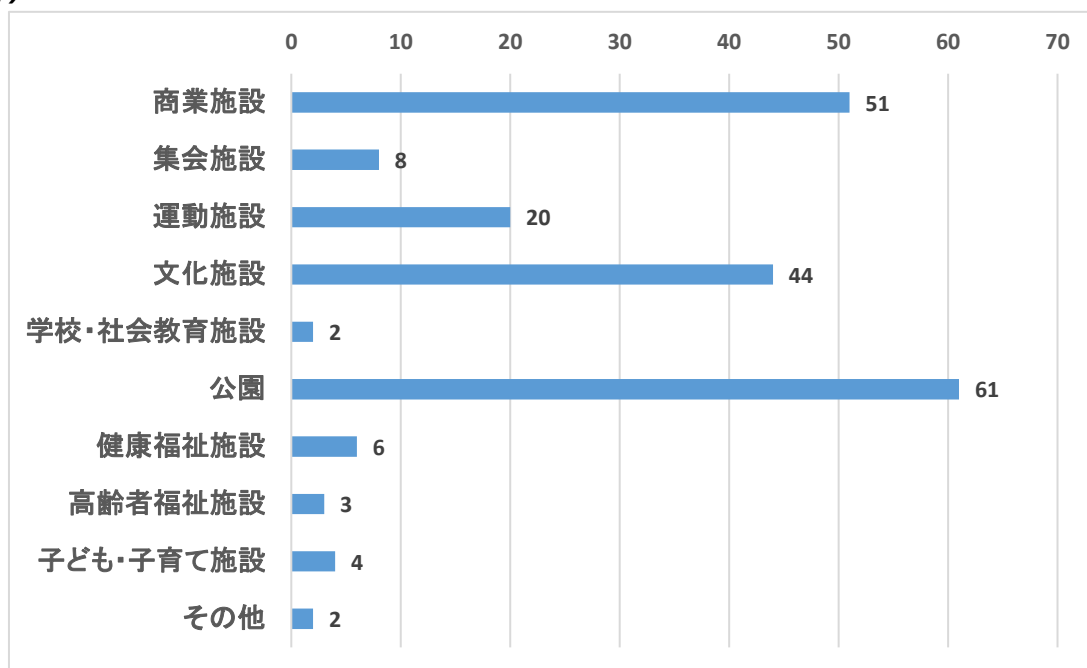


n=148

「少しある」と回答した人が62人（41.9%）で最も多かった。

問12で「ある」「少しある」と回答された方にお伺いします。

問13 自宅以外で居心地が良い場所は具体的にどこですか。（3つまで選択可）



n=95

「公園」と回答した人が61人（64.2%）で最も多かった。

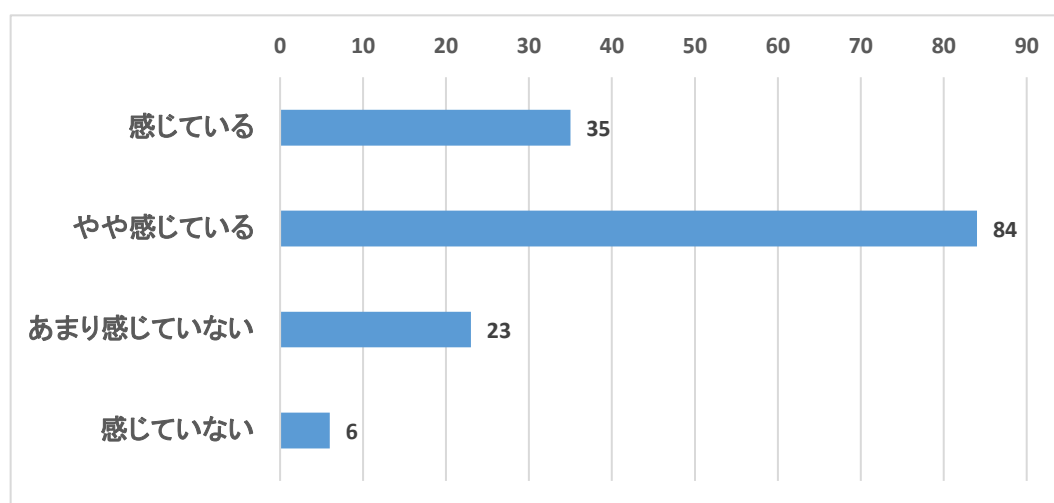
《選択肢例示》

商業施設	スーパー、商店街、カフェ、レストラン、居酒屋等
集会施設	集会所、地域センター等
運動施設	体育館、プール、スポーツジム等
文化施設	図書館、美術館等
学校・社会教育施設	小学校、中学校、生涯学習センター、フレンドセンター等
公園	公園、広場、植物園等
健康福祉施設	病院・診療所、健康福祉センター等
高齢者福祉施設	ふれあい館等
子ども・子育て施設	保育園、児童館、子ども家庭総合支援センター、赤ちゃんの駅等

《その他の回答》

- ・区民事務所→区広報誌や様々なイベント・カルチャー・防災情報等が一か所でチェック・入手できます
- ・荒川土手

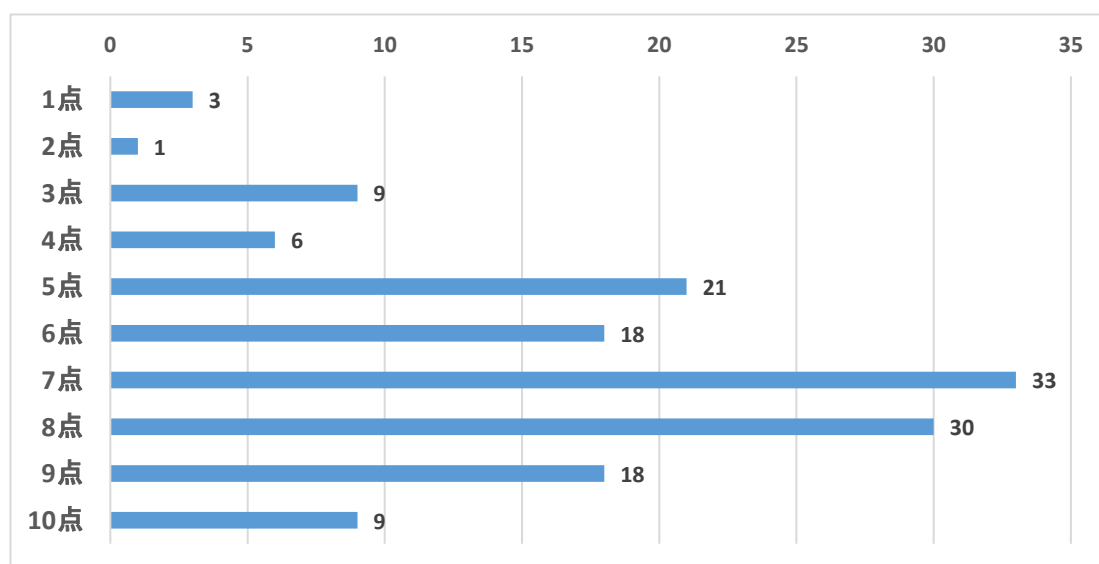
問14 あなたのお住まいの場所が、高齢になっても安心して住み続けられる場所だと感じていますか。



n=148

「やや感じている」と回答した人が84人（56.8%）で最も多かった。

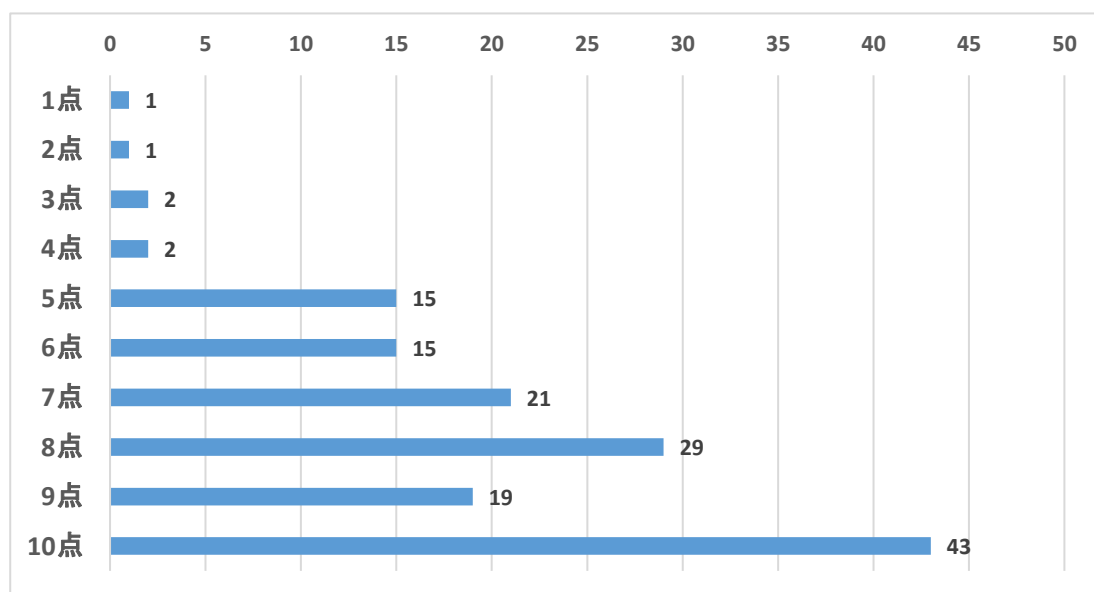
問15 板橋区の魅力を他の誰かにすすめたいですか。（1点から10点までの10段階で回答）



n=148

「7点」と回答した人が33人（22.3%）で最も多かった。

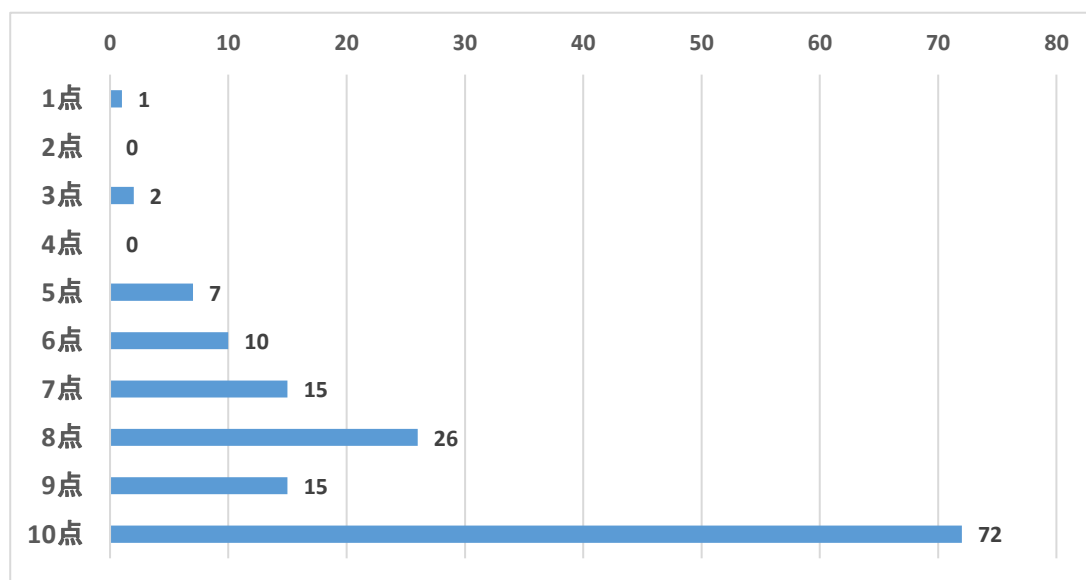
問16 板橋区をより良くするための活動に関わりたいですか。（1点から10点までの10段階で回答）



n=148

「10点」と回答した人が43人（29.1%）で最も多かった。

問17 板橋区をより良くするために活動している人に感謝（応援）したいですか。（1点から10点までの10段階で回答）



n=148

「10点」と回答した人が72人（48.6%）で最も多かった。

問18 その他、都市づくりに関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

※いただいたご意見の中から抜粋して掲載しています。

街並みについて

これからは人は増々、自然や緑に安らぎを求めるようになると思います。古い町（街）であれば、それを生かした街作りが大切だと思います。古い家を生かしたカフェ・レストラン等ですらぎstationとするなど。

私が居住する団地は高齢化が進んでいるようで、若い人をあまりみかけない。都心へのアクセスも良く周囲には公園・図書館・体育館・スーパーさらには河川もあり、居住環境は良好です。若い世代の子育てにも十分な環境で若い世代の転入を期待しています。公団と誘致策を検討してください。

これからの生活の場として、かつて農地が多かった土地柄を活かし、家庭菜園用のスペースのある住宅や、レンタル農地、住と農を近づけたライフスタイルを目指せる街づくりはどうか。似たような街並みが増えるなか、昔ながらの商店街があったり、身近なところで野菜などが育ったり、自然と人の営みが調和した街を目指してほしいです。また、石神井川沿いの桜並木をもっとお手入れして（木の剪定をただきるのではなく樹勢や形を考慮して丁寧にするなど）、遊歩道を区の目玉になるような景観に整えてほしいです。さくらプロジェクトもやっているようですが、活動があまり進んでいるようには思われません。

高層化しないで欲しいです。23区内で、一番空が広く、星空を眺められる街になると良いと思います。何世代にも渡って住み続けられるように、誰もが住みやすいほっと出来る板橋区であり続けられるような素敵な街を目指して欲しいです。

板橋は商店街が多くて楽しいです。昔ながらの喫茶店や、顔馴染みの集まる居酒屋さんなどがそこに残っています。これからもこういった商店街に囲まれて暮らしたいです。

緑豊かなまちづくりを希望します。

緑多い都市でありたい。

強風で枝が折れ落ちた為、桜樹木が切られてそのままになっているが、新しく植樹していただきたい。小さな公園にも木陰になる様に植樹してもらいたい。

交通・道路・通路について

普段利用している駅までは徒歩か自転車（ときわ台近くに駐輪場あり）で移動している。本蓮沼駅までは道幅が狭く、車が通るときは歩行者が避けるような状態です。ときわ台駅までは比較的、道間は広いのですが、路肩は傾斜している場所が多く、歩きづらい箇所が多いです。バスは近くを走ってはならず、この先年齢を重ねて歩行がづらくなった際に、駅までの環境が厳しいものになると思います。巡回バスやタクシーの割引制度などを検討していただきたい。

災害に強いまちづくり自転車をもっと安全に走れるような道に整備してほしい

現在小竹向原付近に住んでいるが、板橋の中心に出られる公共交通機関がなく、役所に行く際や区のイベントに参加したい時など、とても不便。特に都営三田線は有楽町線や副都心線と交わっておらず、一旦池袋に出て巣鴨まで行かないと乗り換えられない（メトロ→JR→都営線のため料金も高い）。距離的に1番近い区民事務所も徒歩40分または電車乗りついで40分ととても不便なので、ミニバスなどで交通の便を補って欲しい。

路にゴミが多いと感じます。定期的にゴミ掃除をするボランティア活動などができるといいなと思います。

運転免許は持っているが、最近はバスおよび自転車または徒歩での移動がほとんどです。 3つの移動手段の問題点は、 ①バス:シルバーバスで利用できる都営交通、とくにバスの路線、時刻等の情報提供が少ない(都の領域かも)、コミュニティバス等の路線を考えてほしい。 ②自転車:道交法の改正もあるが、自転車を安全に乗り歩行者、自動車にも安全な道路とは言えない。また自転車利用者へのマナー教育が必要。 ③徒歩、②と密接に関連するが、歩道が狭く凸凹していて、自転車との棲み分けも未分化。また、駐輪場の整備も必要。
東武東上線に乗車中、急停車が多いと感じる。同社が安全運行に格別に力を入れている証でもあるが、それほど踏切の危険横断が多いことも示していると推察する。一鉄道会社ではなく区として同線の高架を推進できないものか。安定した運行による区民の利便性向上、歩行者他の安全確保、災害時停車車両によるバイパス機能不全の解消、等々を考慮すると検討の余地があると思う。
板橋区は横に長く、2つの鉄道の沿線で分かれているので、結びつけるバス等が少ないと思います。
都市づくりの基本は安全第一だと感じます。インフラ施設の定期的なメンテナンス。災害を未然に防ぐ対策、自動車、自転車、歩行者にとって利便性や安全性が担保された都市づくりを望みます。身近な課題としては歩行者道や自転車レーンが不十分に感じますし公共交通機関も板橋区は縦の導線が弱いように感じます。
高島平周辺等の道路が比較的広い地域では、徒歩、自転車、車がそれぞれに過度の負担なく移動できる都市づくりを進めていただきたいと思います。 また、鉄道軸に比べると、その間をつなぐバス路線の利便性はどうしても一段見劣りしてしまうのが現状であり、コミュニティバスやバイクシェア、さらに新しいモビリティ(電動キックボードはいろいろ改善点が多いとは思いますが、さらに進化したものなど)等による補完を推進いただけるとよいのではないのでしょうか。
ベビーカーで普段赤ちゃんを連れて歩いています、道路小さい段差が多いように感じます。すごくベビーカーが押しづらいので段差が少ないバリアフリーの道が多くなると更に住みやすくなるのではと感じています。(2件)
①高島通りの御成塚通りと蓮根駅前通りの間に、横断歩道を新設していただけると助かります。現在は歩道橋のみですが、自転車での移動が多く、使いづらさを感じています。 ②区内の移動がもう少しスムーズになると、板橋区の魅力がより生かされるのではと思います。住んでいるエリアごとに路線が異なり、他エリアへの移動がしづらいため、せっかくの飲食店や施設も活用しにくいと感じています。 例えば「高島平エリアから大山エリアに行くにはこのルートがおすすめ」といった案内があると、区内移動のハードルが下がるのではないのでしょうか。また、ブラウザ検索で見つかりやすくなると、より活用しやすいと思います。
若木通り、特に中台1丁目34付近は、曲がり道であり勾配もある場所です。この道を北側から南側へ自転車で移動する際は左側(東側)移動となり、車や歩行者との接触の恐れがあります。 ※柵をつける事による歩行者と自動車を分ける整備は、西側にのみ実施。東側は用地の関係上、整備困難かと思っています 実際に私の子どもは、自転車移動時にこの住所付近で高齢男性と接触する交通事故を起こしてしまいました。 令和7年度予算には、若木通りに自転車用の道路印字を行う予算があると思います。これから歩行者、自転車、自動車の安全通行確保を目的とした若木通り整備を、よろしくお願いいたします。
・駅前駐輪場が区営・民営ともに空きがほとんど無いため自転車を手放さざるを得なかった。 ・東武東上線に踏切が多すぎて街が分断されている。 ・都営三田線を光ヶ丘経由で成増まで延伸すれば都心方面へのルートの選択肢が増えて板橋区のブランド力アップにつながると思う。
移動手段で自転車をよく使います。来年から自転車に対する罰則も厳しくなるみたいですが、基本的には自転車も車両なので、道路を通らないと行けませんが、怖くて通れません。狭い道路は仕方ないのかもしれませんが、なるべく自転車も安心して通れる道が整備されるといいなと思います。

都市づくりの中に、多様な人(幼児から高齢者、障がい者など)が道路や交通機関を快適に、安全に利用できるように配慮してほしい。例えば、車優先の道路整備から歩行者、自転車利用者、車いす利用者などにも配慮して整備してほしい。公共交通機関の駅や停留所等の周辺については、バリアフリーを徹底してほしい。
地下鉄赤塚に行く時に踏切があるのですが、歩道橋がなく、なかなか開かない時もあるので、朝など急いでいる時には少し不便だと感じています。歩道橋について検討をお願いします。
駅前、雨の後でも、安心して歩けるように、雨水の大きな溜まりや、道を、平坦にしてほしい。
自転車も歩行者も安心して通れる広い歩道が欲しい(5件)

駅周辺について

商店街の植木(花)は見ていて癒されるのですが、少し数を減らしてもらえると自転車を置いておけるのに...と思います。上板橋駅周辺はヨーカドーの解体によって自転車置き場(駐輪場)が少ないと感じます。どこもいっぱいだとめられないので、駐輪場の情報があるといいなと思います。
私の最寄り駅は地下鉄駅ですが、入口の改修をして欲しいと思う時があります。エスカレーターでシームレスに移動できる場所は限られており、エレベーターも遠い位置にあるため、高齢者の電車利用は辛いと思っています。 商業施設は次々新しいものができているのは嬉しいですが、アクセスが悪いと行きたくても行きにくくなってしまいますので、交通の利便性をあげる他に、商業施設の近くにある空き家をリノベーションして住めるようにすると、物理的に近い場所へ住めるような対策も同時並行でしてもらいたいです。
駐輪場が少ないと感じるのと、まだ再開発中だけど上板橋の南口は最近綺麗になってきた。朝通学の際に職員の方がゴミ拾いをしてくれている姿を何度か見かける。ゴミが置き去りになっている印象で、定期的に拾えるのであればゴミ箱設置の方がいいかなとおもう。(鳩がたくさんいるので扉付きにするなどの対策も必要かもですが)
安全に歩けるまちにしたい。狭く車と人の往来が区切られていない東武練馬駅前はかなり恥ずかしいレベル。
6つのテーマの中で①「駅を中心とした・・・」がございますが、これは肝要です。地方に行きますと駅前が寂れ閑散としている街が多く痛々しいです。皆さん、郊外のSCやモールに流れてしまっているようですが、幸い板橋区は駅前が賑わっており、いつ行っても楽しめます。ぜひこの流れを維持・充実方願います。街の基本は駅前であると思料致します。そのようなインフラや環境整備とともに合わせて一部区民の方のマナー・クオリティ(交通ルール、自転車、ポイ捨て、屋外喫煙等)の向上も喫緊の課題であると愚考いたします。
駅周辺は道が狭く曲がっていて人に来ていただく時の説明がしにくい又自転車も一緒に通るので危ない→計画的に歩きやすい様に拡張を検討して欲しい。
板橋駅前、板橋区役所前駅の再開発で商業施設をもっと増やして欲しい。

建物・施設・設備について

高齢者としては家の近くに医療機関、買い物するところがあり、便利という街づくりが優先です。

板橋区の中心には文化施設が多く存在し、改修もされているが、板橋一丁目近辺はほぼなく、あっても老朽化が進んでおり、不便を感じる。

休憩するような椅子が少ない。

①踏切の除去→東武東上線で成増駅⇔中板橋駅の地下化（この区間の連続立体交差は難しいと思うため）

→将来的に成増駅と地下鉄成増駅 / 下赤塚駅と地下鉄赤塚駅を1つにする

②高島平駅周辺の再開発

→マンション+大型イオンや複合施設、レジャー施設（水族館、展望施設等）の誘致

再開発でタワーマンションが建てられるケースが続いているが、魅力的な都市のために、タワーマンションが必要か疑問に感じます。どの地域も同じ顔になってます。

区役所前から加賀一丁目にかけては、保育・教育機関、医療機関、図書館、スポーツセンター、公園、商店街、マンション街が適度に集積しており、子育て世代、ミドル／シニア世代にとって、大変暮らしやすい環境が整っている。

残念なのは王子新道沿いが商店街ではなく、住宅街として整備されてしまったこと。巣鴨や下北沢のようなカルチャーやストリートファッションが集積するような都市づくりを期待する。加賀一丁目の大規模マンションに住んでいて困るのは、光ネット／5G環境が整備されていないこと。ダークファイバー網の活用で、5G都市、ソサエティー5.0を実現してもらいたい。

私が使う上板橋駅前ではタワーマンションの建設が進んでいます。この周辺に住んで39年になりますが、下町らしい情緒が消えていくのは寂しいです。大山もそうですが、タワーマンションの建設には反対です。建設してほしいのはコンサート・ホールなどの文化施設です。

都市づくり全般、その他のご意見

わりと住みやすいところだと思っています。（低い土地なので水害の心配はある）ボランティア等で子供たちの居場所づくりや公園等の清掃活動をしている方々もいらっしゃるの、自分のできることで協力したいと思っている。感謝しているし応援している。よりよくなるように考えて実施に向けて協力したい。

問6の駅は通院で利用しています。開発の工事現場を歩いて、どんな風影に変わるのかなと！千代田区、中央区でよく見るのは、建築許可書の横に完成予想図のポスターが貼られているので、「こんな感じ」納得です。高島平も来年から工事が始まると思いますが、できれば板橋区中央図書館のように広い空間とゆったり感のあるスペースと席・テーブルをお願いしたいです。公園は小さくとも下板橋の電車が見える公園がおすすめです。1つメインになる大きな桜の木が見事に咲き乱れて素敵です。

新河岸地域の高齢化、少子化の進む中で住み続けられる場所。旧新河岸の幼稚園の跡地等の活用は考えられないだろうか？

板橋区はどのような都市づくりをしたいのかわからない。

改めて質問に問われて我が家の周辺環境について考えてみると、取り立てて不満はないものの満たされてもいないことに気づきました。

このバランスがどちらか強いと気に留めたり人によっては自ら行動を起こして改善を求める人もいるかもしれません。でもそうでない人が大半でなんとなくやり過ごしていることでしょう。

私も子どもが未就園児のときは公園について要望をたくさん抱えていましたが、どこに伝えればいいのかかわからずモヤっとしたままでした。

素朴な疑問、要望はどこに伝えればいいのか簡易でわかりやすいのならば（私の場合育児に手一杯で必死に調べるに至らずでした）やり過ごすことも減るのではと思いました。

とにかく一刻も早く若者向けの区、独身を大事にする区になって欲しい。
お洒落なカフェやアニメイトや若者向け店舗やショッピングビルの誘致は必要。
そうしないと若者は来ない。
逆に高齢者向け店舗誘致や高齢者向け優遇はもう一切辞めるべき時。
同時に外国人への過剰な優遇やサービスもやめて欲しい。
板橋区は氷河期世代の人達、独身達が支えてきてる区なので、そういう人達が生活できて安心安全に生きて楽しめる区になって欲しい。

舟渡地区は板橋区中心から外れているため、疎外感があるので、浮間公園が近くにあるとは言え、舟渡地区も板橋区にとって欠かせない地域のひとつになってほしいと思っている。具体的にはすぐには思いつかないが、舟渡地区でしかできないこと（浮間公園や職業訓練所、夏の花火大会）のほかにも、もっと特色を作ってほしいと思っている。

2つほど提案したいです。好き放題書いているので実現性の観点は素人ということでご容赦ください。都市整備の専門家さんは是非検討をお願いします。

①西高島平の北にある物流拠点をうまく活かさないだろうか

例えば、豊洲市場が仲卸を見学出来るようにしたように、物流を魅せる施設にして物流の現場をカッコよくしてしまうとか、いっそ物流拠点でそのまま直接物を売るショッピングモールをその上に作ってしまうとか出来ないだろうか。

②荒川河川敷をランナーやサイクリストがもっと使いやすくなるよう整備は出来ないだろうか
ずいぶん前にあった台風以来、河川敷の道沿いのトイレが壊れていたり、給水もしにくかったり、休憩場所も少ない。リサイクルプラザだけでは全然足りない。荒川河川敷の基本インフラ整備と、ついでに景観整備をして、走ったら楽しい景色が見える(花壇、噴水、オブジェ、川で面白い舟が見られる、水門が動いてダイナミックなものが見れるなど)という売りでランナー・サイクリストを呼び込めないだろうか。

①、②の合わせ技で、西高島平の北の物流拠点近辺にショッピングモールがあってランナー・サイクリスト向けのショッブやサービス、休息地(温泉など)がいろいろあれば板橋区の顔に発展させることも夢ではないのでは？！

埼玉から戸田橋を渡った途端にカラフルな街並みになったら、きっと板橋区・東京にワクワクしてくれると思います。「ランナー・サイクリストの街 板橋」アリでは？BSのチャリダーとかランスマとコラボしちゃってください。

この暑さでつくづく感じるのは木の重要性です。木があるところは明らかに涼しいです。落ち葉の問題など住民のクレームなども多いと思いますがそれ以上にこの災害ともいえる暑さに対応するために木の伐採はやめる、新規開発地には大きくなり過ぎない樹種の木を植える、木の大切さを近隣住民に知ってもらい落ち葉処理などにも住民参加を促すなどが必要だと思います。

災害などで電気が止まったら、多くの死者が出ることは間違いありません。そこに木陰さえあれば、最低限の避難ができます。

上板橋駅の、再開発中の何もないアスファルト地獄を通るたびにそれを思います。都市の緑地、街路樹づくりは最優先事項だと思います。

1. 災害対応への「要支援者対策」の強力な推進。
2. 東武東上線の「立体交差事業」の強力な推進。
3. 板橋区の「各種審議会」傍聴に当たっての資料の無償配布・・・なぜ、審議会傍聴に、コピー費用負担が発生するのか？コピー立会に、スタッフが張り付く必要もあり、合理的でないのでは？

ゴミ捨て場周辺が乱れていて汚いアパートが散見されるのが残念。

防災上課題のある地区がある。住民主体で、行政がアドバイスするよう再開発はあるのでしょうか。また、好立地なのにシャッターで閉まったままの店舗を貸し出して若い世代が事業に活用できるしくみはあるのでしょうか。民泊はしない方がいい。日本円を使わない決済で脱税などを生じる。

以前高島平に住んでいたもので、昨今の高島平の再開発には関心があります。

高島平以外の地区もそうですが、街の開発の進捗状況を広報いたばしなどでもっと発信されてはいかがですか。（最近の広報いたばしの記事はルーティン化しているような気がしますので…）

区として都市づくり、街づくりに力を入れているのであれば、機会を捉えて積極的に情報共有した方が後々きっと楽になると思います。（決まってから一方的に伝えられてばかり…と皆さんに指摘される機会も減るのではないかと）

板橋区の都市づくりは、「基本構想」を頂点とする強固な計画階層と、「板橋区都市づくり推進条例」に支えられ、大規模再開発を推進する高い「技術的・管理的実行能力」を強みとしています。

特に災害対策では耐震化率95%など高い目標を掲げ、着実に進捗しています。

しかし、その戦略は利便性や安全性といった機能性を重視する「選ばれるまち」というコンセプトに留まっています。

その結果、駅前再開発などの物理的改善が進む一方で、「駅前が地域の顔とを感じる割合」が低迷するなど、成果が住民の「愛着」や「誇り」に十分に転換されていないという認識ギャップが生じています。

この課題は、感情に訴え区民を「ファン」として魅了する豊島区の「憧れのまち」戦略や、区民を「パートナー」として位置づける北区の「区民主体のまちづくり」戦略と比較すると一層明確になります。

板橋区の戦略が、区民をサービスの「顧客」「受益者」として捉えるトップダウン的な実行能力モデルに偏り、区民主体の「共創」へのエンパワーメントが欠けている点が、成功地区との決定的な違いです。

このままでは、住民の心が離れ、計画は進むがまちの活力が失われる「戦略的停滞」に陥るリスクがあります。

この課題認識のもと、現在改定中の次期ビジョンでは、新たに「脱炭素に貢献する都市の形成」と、気候変動や感染症も含む広範な「安心安全でしなやかな都市（レジリエンス）の形成」が掲げられました。

これは、従来の機能性に加え、サステナビリティとレジリエンスという現代的な価値観を本格導入する重要な戦略転換です。

後の成功は、この新方針を具体化し、トップダウンの開発とボトムアップのコミュニティ活動を真に統合できるかにかかっています。

板橋区をより良くするために活動している人に感謝しております。ありがとうございます。

都市づくりを考える際に、板橋区のみでの都市づくりから広げて隣接自治体と併せた形で都市づくりも考えてほしい。

最寄り駅は板橋区内ではない豊島区の千川駅であり、様々な買い物や文化交流、人付き合いの拠点は池袋となっている。

板橋区民の場合、他区ではあるが池袋は生活の一つの大きな拠点となっている住民が多いことが想定される。池袋のある豊島区と連携した都市づくりを推進してほしい。

住居、買い物、文化、医療、産業での広域連携での施策の推進をお願いしたい。

市街地再開発＝タワマンのパターンが多く感じます。費用の関係からそうなるかとは思いますが。前提として、安全、共生可能な都市づくりを願っています。

都市づくりにおいては利害から、納得できないことも少なくない。いつの間にそうなったのか、蚊帳の外ではないか、といった思いがあるので、経過などの情報公開は丁寧に行って欲しい。誰もが説明会に出席できるとは限らないことを認識して欲しい。

・千代田区のようにマンション転売制限を検討すべき
・賃貸マンションの賃料が高騰し話題になった板橋区としては、民泊物件制限廃止・外国人所有物件の規制等検討を実施すべき

板橋区は全国的に珍しく、工業地域・商業地域・住宅地域が混在している統合環境地域と言われている。これから発展する街づくりを目指すならば、都市景観を考慮し効果的効率的な区画整理が必要と思われます。

・道路においては、徹底的な歩車分離（歩道・車道の設置のみならず、歩行者・自転車等交通の分離）

・生活道路と幹線道路の明確化。（生活住宅街は居住者のみ通行できる道路に指定、抜け道に利用されないため）

・繁華街と生活住宅街の明確な分離。（従前は町工場も多く、住宅街に飲み屋も多かったが、現状住環境優先させる為、住宅街には飲食店特に夜10時以降営業許可を出さない。）

魅力ある板橋区、住みたいと思われる板橋区にするためには、子供を安心して育てられる板橋区にするためには、ある程度のカンフル剤的な施策も必要と考えます。

● 区内の公園について：

区内の各公園に小型バイク（125cc以下）の駐車場を数台分でも有料で良いのでは是非完備してほしいです。一部の大きな公園（城北公園など）にはありますが、中小規模の公園（板橋交通公園など）には小型バイクを停める場所が無く小学生の子どもと気軽にバイクで行けないのがとても寂しいです。125ccのバイクは保険にもファミリー特約枠があるためそれ以上の大きさのものと比べ維持費が安く、所有している家庭は多いと思います。小さいバイクでのんびり子どもと2人で会話を楽しみながら近所の公園に行けるのは非常に幸せです。

● タワーマンションについて：

タワーマンションの誘致は区内人口の増加と税収の観点から非常にメリットがあるものと強く理解しています。ただ、その建物の景観は画一的で板橋区の良さを損なっているとも感じます。板橋区内の一部地域に武蔵小杉のような街の変化があっても良いのかもしれませんが、それが自分の家の近所だとしたら、、、、反対すると思います。

（大山は徒歩圏ですが、現在大山で進んでいる大規模マンション開発は非常に違和感を感じます）タワーマンションを作るにしても、1箇所に乱立させるようなことを避けるよう条例で半径10km以内に2棟は許可しないなどの「薄める」ような制限をするなどすると既存の近隣住民との共生がスムーズに行くと思いますし、万が一の災害時にもお互いに不便さを吸収させることができると思います。（住民の分断も大きなものにならないと思います）景観への影響も幾らかでも減らせるでしょうし、他自治体との差別化も図れると感じます。

● 外国人（または外国人が実質的に保有する会社による）不動産の保有について：

不動産業界の専門知識はありませんが、可能な限り外国人（または外国人が実質的に保有する会社による）不動産の保有を抑制するような制限を区の自治体レベルで可能ならそうしたことを進めるべきだと思います。固定資産税、また、何より相続税の徴収を実質的に行なえず将来的に財政への大きな影響が生じることを懸念します。こうした外国人を対象とした税収の徴収不可対象の拡大は、数年後あるいは数10年後に区民が利用するインフラの予算不足に繋がります。長い視点での施策検討をお願いします。

今住んでいる人の満足度を高めることが最優先だと思います。税収などの絡みもあるのですが派手な施策によって外から人を呼び込むなどと言うことではなく、噂がジワジワと人の口の端に登るのが良いのではないのでしょうか。

空き家等の問題は板橋区も例外ではないと思いますが、そうした土地を積極的に取得してほうばうに文化の香りも添えた緑化したオアシスを設ければ魅力も格段にアップするものと思います。せっかく常盤台の良好な住宅地という良い事例を持っているわけですから、特徴的な街並みを板橋区モデルとして区内の各地に採用すると言うのもいいでしょう。良いものはどんどん真似するべきです。

板橋区をより良くするための活動に関わりたいとは思いますが、現在そうした活動をしている人への感謝や応援は微妙です。活動をされていること自体への感謝や応援の気持ちはありますが、目に見えた成果が感じられないことから評価は3とさせていただきました。

自転車の利用についての設問がありましたが、車からしてみれば歩行者も自転車も弱者です。弱者同士でいがみ合うような今の風潮はいかななものかと思っています。来年度から自転車への取締りが強化されると、いつか車道上で自動車と自転車の大事故が発生することを懸念します。自転車利用者の中にもスピードを出す人出さざるを得ない人と出さない人がいます。実はあまり語られていないこの混合交通が実に危険だと思います。車道上で自転車同士の追越し追抜きが発生するからです。自転車利用者自身の判断による歩道の通行を許容し、スピード制限違反の摘発を厳格に運用することが最もやらなければいけないことだと思います。

大規模新設マンションが建つ場合は低層部に誰でも使用できる商用施設区域を設置するようにして欲しい。防火地域に木造建築物を認めず防災に配慮して欲しい。

再開発事業をスピード感持って進めて欲しい

歴史・旧跡、公園、緑道・歩道などの整備

体育施設（ジム、プール、陸上競技場等）をさらに増やしてほしい。

歩道を猛スピードで走る自転車が多くの歩行者の安全を守るために、自転車用道路の整備を進めてほしい。

先日の第一回アンケートの回答を見て少し思う事があったので今回記載させていただきます。
 まず、商業施設の誘致についてカフェやアニメイトを上げている回答がありましたが、私は板橋区は生産と住居がメインの町だと思っているので、商業施設ではない所謂行楽施設の誘致は急務ではないと考えます。
 むしろお隣、豊島区さんより後発でありかつ地盤も無いため発展には貢献しないし、得意なものは得意な所に任せておく、差別化は大事だと思います。
 その点でいくと、理化学研究所が和光市さんにあるのは大変もったいないです。
 工学をブランド化したいのであれば、研究所があれば強いですが今現在は過去形のイメージです。少し弱い。
 まだボローニャ絵本館がある分、えほんのまちの方がイメージが湧きます。
 板橋区は高島平・ときわ台・上板橋・大山をはじめ、どちらかというと生活基盤。
 豊島区をはじめ、他の地域に人を働きに出している分住みやすさにこだわった方が区の強みは出るのではないかと思います。
 だからこそ、区内の公営施設やバスなどのインフラが大変重要で、高齢者が増えていく分いつまで自転車で移動を補完するのかな？といった印象はあります。
 2つ目に、花や緑を豊かに、休憩場所を沢山作って、とおそらくご高齢の方の意見かと思ったのですが、財源や管理はどこでどうやってやるのでしょうか。
 ご意見自体はとても良いと思うのですが、最近の行政やご高齢者を見ていて思うのは、ボランティア、つまり善意で無料でやることは当たり前ではないし、今の働き世代や子供たちはそこまでの余裕はないのだということを知って置いて頂きたいです。
 ここで上げられている花や緑はおそらく、しっかり手入れのされている花壇や樹木であり、公園の雑草たちではないですよね？
 区内に配置されている水が流れていたであろう設備を見ていて思うのですが、優先順位は大切だと思います。
 美しさの景観は大切だと思いますが、ガタガタで歩きにくい歩道や走り難い自転車レーンの方が優先度は高いかとおもいます。
 ボランティアはあてにせず、あくまで予算をつけてやって頂きたいなとは感じました。
 最後に、全体的にぼんやりしている、明確ではないとのご意見も多くあったようですが、10年を見据えたアンケートなので、私は今くらいの方があらゆる世代が答えやすいのではないかと感じました。

若年層に受け入れられる住みやすい街作りを願います、西武池袋線の石神井公園近辺に大負けしていて愕然としました。

よそから来た人も板橋を好きになるような街づくり。東京には、全国各地から人が来ていると思うので、お互いを尊重できる空気感があってほしい。
 個人的に、「国会議事堂の敷地内には47都道府県の木が植えられ大切に育てられている」というエピソードを聞いて感動しこの街が大好きになりました。
 このエピソードはきっと一生、この街に心を置く事ができる土台と言えと思っています。

公園や駅周辺、プロムナードなど公共の植物について、おそらく有償ボランティアの方が作業くださっているかと思いますが、あちこち荒廃しています。
 伝聞ですが、熱心に環境整備に協力くださった方が高齢化していなくなり、人手が少ないようなお話を聞きます。
 私も草抜きなどちょっとしたお手伝いをしてもいいなと思いますが、勝手に何かするのもどうかと思っています。
 美化に協力していただけますか？という立札を立てて協力を求め、参加の敷居を下げるのはどうだろうかと考えています。問合せ先を書いたり、草抜きならご自由にとか、同じ気持ちを持つ人の繋がりを生むし、良い相乗効果があるように思います。町が整備されると治安もモラルも向上すると思います。

皆が法令やルールを守り、より良い環境や景観にを維持できるよう、住民と行政が連携した都市づくりをお願いします。

毎日利用している十条駅は北区になりますが、駅前が再開発されたばかりで当区の参考になると考えています。密集した木造住宅を排除して町を整理したことは必要だったと思いますが、かつて十条駅前にあった良い意味での小さな商店の賑わいは失われております。タワーマンションによるビル風も酷く、使い難くて今のところガラガラの商業施設は、画一的な開発の限界を感じさせます。板橋駅の開発も同じようになってしまわないか心配ですし、やはりあのような開発の仕方は、より都心に近い区で行うべきものだろうと感じております。

西高島平駅周辺は不便な面もあるが、閑静な住宅地であり暮らしやすい。無理な開発をするよりも、今ある魅力・価値を守り、活かして貰いたい。
他の地域も同じ。今ある特性を活かすことにより発展させて貰いたい。

インバウンド関連（外国人旅行者）に板橋区に立ち寄ってもらえる仕組み（施設やイベント）を展開してもらいたい（東京の庶民的な生活空間・商店街や飲食店・観光施設など）
英語・中国語などの多言語対応が必要になりますが価値があると考えています。

キレイな街作りをしたいのであれば、区民への啓蒙活動が必要だと思います。

都市づくりの未来図と進行状況を知りたい。

「甚大な災害に強いまち」に重点を置いて都市づくりを考えていただきたいと思っています。
昨今の気象異常から都市部の灼熱化や集中豪雨の雨量の多さ、冬の積雪量の増加は、日々の生活の安全を脅かす事態になっています。今までの上下水道路整備や電力網整備の考え方を根本から見直すべき時と考えます。板橋区は江戸時代末期以来、丘と畑、細かな川と湿地帯で構成された土地を明治期から整備し、特に昭和40年ごろからの都市開発で道路交通網を中心とした整備の進展で、細かな川の埋め立て、あるいは暗渠化を行ってきました。丘と谷は完全に平坦化されず、その上にできた道路を中心の電力網と区画割した住宅地とその規模に合わせた上下水道配管を配置しており、集中豪雨の発生では低地側に集中して水害、電力網の遮断となる危険性を内在しています。震災も近いといわれており今日、新たなビル作りを検討することと同様に、今までの都市整備での強靱度アセスメントを行い、対策を打ち出して、整備の推進をして頂きたいと切に願います。



いたばし・タウンモニター いたばし・eモニター 令和7年度 第2回アンケート結果報告書
板橋区都市づくりビジョン「都市づくりの取組」について

令和7年 11月発行

刊行物番号
R07-83